

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
日本理工情報専門学校	昭和52年4月1日	瓶井 修	〒533-0015 大阪市東淀川区大隅 1-1-25 (電話) 06-6329-6553			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人瓶井学園	昭和58年9月26日	瓶井 剛	〒533-0011 大阪市東淀川区大桐2丁目6-6 (電話) 06-6329-6553			
目 的	第二種電気工事士免状、第三種電気主任技術者免状の取得を目指し、その資格を活かせる職業に就くことができる技術者の育成を目的としている					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
工業	工業専門課程	電気工学科	2年(夜間部)	1800単位時間 (又は単位)	平成14年文部科学大臣告示19号	
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	900単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	400単位時間 (又は単位)	500単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
60人	46人	4人	5人	8人		
学期制度	■1学期：4月1日～9月30日 ■2学期：10月1日～3月31日 ■3学期：			成績評価	■成績表(有)無 ■成績評価の基準・方法について 年間4回の定期試験 実習・演習の評価	
長期休み	■学年始め：4月15日 ■夏 季：8月1日～8月20日 ■冬 季：12月25日～1月7日 ■学 年 末：3月15日			卒業・進級条件	履修科目の全単位取得	
生徒指導	■クラス担任制(有)無 ■長期欠席者への指導等の対応 電話連絡・警告文送付・保護者懇談			課外活動	■課外活動の種類 電力施設見学 ■サークル活動(有)無	
就職等の状況	■主な就職先、業界等 電気設備管理・電気工事業 ■就職率※1100% ■卒業者に占める就職者の割合※2 88.9% ■その他(任意) (平成28年度卒業者に関する平成29年3月時点の情報)			主な資格・検定	第二種電気工事士 第一種電気工事士 第三種電気主任技術者	

<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 1名 ■中退率3.1%</p> <p>平成28年4月1日在学者 32名（平成28年4月入学者を含む） 平成29年3月31日在学者 31名（平成29年3月卒業生を含む）</p> <p>■中途退学の主な理由 仕事が多忙になり登校できなくなる。転勤により登校できなくなる。</p> <p>■中退防止のための取組 土曜日・日曜日における補習授業の実施</p>
<p>ホームページ</p>	<p>URL: http://www.nrj.ac.jp</p>

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

電気工事工業組合や東洋ビルメンテナンス(株)等の団体・企業においてヒヤリングを行い教育課程編成委員会に諮り、企業のニーズに応える事ができる人材の育成に必要な内容を授業に反映させている。また、企業による実務に必要な知識習得のための演習や現場における体験実習を重視し授業科目に組み入れ易くするため授業時間割を1カ月ごとに組み替えるようにしている

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成29年5月26日現在

名 前	所 属
清水 政仁	一般社団法人情報通信エンジニアリング協会
糸尾 武則	自動車整備振興会高槻・三島地区会
宮崎 雄次	大阪府電気工事工業組合
上田 茂久	公益社団法人 大阪府建築士会
小西 敏仁	ネットトヨタニューリー北大阪株式会社
宮崎 吉雄	トナミ電工(株)
宮崎 一郎	トナミ電工(株)
増南 正	(有) スタジオ・マックス
石上 芳弘	イシウエヨシヒロ建築設計事務所
井端 賢次	テクノメック合資会社
篠原 史規	(有) 車楽工房
西口 良一	東洋ビルメンテナンス株式会社
中野 聡	株式会社ジェイファスト

(開催日時)

平成28年度

平成29年度

第1回 平成28年4月2日 13:30~14:50

第1回 平成29年4月8日 13:30~14:50

第2回 平成28年11月5日 13:30~14:50

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

実務に必要な知識習得のための演習や現場における体験実習をできる限り組み入れ、学生が就業するであろう業界の実務の仕組みや技術レベルを知り、より適性のある職業を学生が選択でき実社会で活躍できることを望んでいる。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
電力技術	高圧受電設備の保守点検の方法を体験するのが目的であり、学園の所有する高圧受電設備の点検作業を主任技術者の指導のもとに2名単位で実習する。 教育課程編成委員会において高圧受電設備の点検は、活線近接作業となり危険を伴うので通常は絶縁用保護具としてヘルメット・絶縁ゴム手袋を着用して行うが、学生の場合は万一の事故に備えて絶縁上衣も着用させるほうが安全であるとの意見があり着用を義務づけることとなった。	有限会社 京極電気
電工実習	設計図書に基づいた施工図面・施工要領書の作成演習を行う。	トナミ電工(株)

	実際の施工図面・施工要領書に基づいた工事が的確にできるようになるため、図面の読み取り方法、品質の高い施工方法を実習する。 教育課程編成委員会において施工図面・施工要領書の作成演習を行った方が良いとの意見があり演習を組み入れることとなった。	
電子回路理論	シーケンス制御における回路の設計業務について必要な知識・技術を学び現場と同等の仕事の流れを体感し、設計業務の実際を学ぶことが目的であり、拾い出し表作成業務の演習・回路図面の作成・回路組み立ての実習を行う	大保電子工業
電気機械技術	山崎インターの電気設備の保守点検、測定器の整備点検とその使用方法	株式会社ジェイファスト

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

(一社)大阪府専修学校各種学校連合会の主催する教職員のための指導力向上講座や外部団体・企業・大学等が主催する講習、講演について事務局が全員に周知・奨励を行っている。

希望者がいない場合は担当課長が指名して参加者を決める。

参加費用は全額学校が負担している。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

名 前	所 属
宮崎 吉雄	トナミ電気(株)
増南 正	(有)スタジオ・マックス
石上 芳弘	イシウエヨシヒロ建築設計事務所
蔵敷 重壽	元 大阪市教育委員会事務局 高等学校教育課長
篠原 史規	(有) 車楽工房
西口 良一	東洋ビルメンテナンス株式会社
中野 聡	株式会社ジェイファスト
宮崎 雄次	大阪府電気工事工業組合

平成29年5月26日現在

(学校関係者評価結果の公表方法)

ホームページに公表

URL: <http://www.nrj.ac.jp>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

ホームページ・学校案内

URL: <http://www.kamei.ac.jp/>

授業科目等の概要

(工業専門課程電気工学科) 平成29年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			数 学	電気回路、電子回路等の計算に必要な数学を学習します。	1通	80	4	○		
○			物 理	力、仕事、熱、ベクトルの計算、エネルギー計算を学習します。	1通	80	4	○		
○			電気回路理論	回路網に関する諸定理を学習します。	1通	80	2	○		
○			電気磁気学	電磁エネルギーや物質中の電磁界を学習します。	1通	80	2	○		
○			電子計測	測定機器の取り扱いや原理を学習します。	1通	80	2	○		
○			電力技術	発電、送電、変電及び電気エネルギーについて学習します。	1通	80	2	○		
○			電気機械技術	直流機、三相誘導電動機及び変圧器の特性や原理を学習します。	2通	160	4	○		△
○			電気機器設計製図	変圧器、電動機、制御用機器等の構造を学び、製図を行う。	2前	40	1			○
○			電気法規	電気工事士・電気主任技術者に必要な電気法規を学習します。	2後	40	1	○		

○			電子回路理論	半導体素子、増幅回路、整流回路、制御回路等を学び、かつ実験・実習でその動作を確認します。	1通	80	4	○		△
○			情報工学	コンピュータの基本操作、アプリケーションプログラム等を学習します。	1前	40	1	△		○
○			情報工学	応用プログラムによる実習及びホームページ作成の基本について学習します。	2通	120	3	△		○
○			電気製図	屋内配線図や電気系統の図面を作成します。	1通	40	1	△		○
○			CADシステム	CADシステムを使用して、図面設計の基礎や応用を学習します。	2通	80	4			○
○			ロボット工学	ロボットの運動機能や位置制御を学習します。また、ロボット制御、数値制御のソフトまで幅広く実験実習します。	2後	40	2	△		○
○			デジタル回路	デジタルICを使って回路を組み、ICの特性を学習します。	2通	80	4	△		○
○			電気基礎実験	電気・電子用の測定器を使用し、実際に各テーマのデータを取り回路網について検討実験を行う。	1通	160	4	△		○
○			電気応用実験	高圧電気機器の動作試験や絶縁耐圧試験を行い理論上と実際のデータとの検討を行います。	2通	240	6	△		○
○			電工実習	電線接続、コンセント、照明器具及び配線器具を使って屋内配線の実習を行います。また、現場における実務的な関連知識・実技についても習得します	1通	20	1	△	△	○
○			第二種電気工事	配電理論、機器、材料、施工方法、法規、検査、配線図等についてポイント的に説明する。また、電気工事の現場で必要とされる工程管理、安全管理等の施工技術を学ぶ。	1前	40	2	○	△	△
○			第一種電気工事	第一種電気工事士国家試験の学科に出題される内容で配電理論、機器、材料、施工方法、法規、検査、配線図等についてポイント的に説明すると同時に現場における実務的な関連知識・実技についても習得します	1後	40	2	○	△	△

○		オペアンプ工学	オペアンプを使って回路を組み、オペアンプの特性を学習します。	2前	40	2	△		○
○		演習	国家試験対策の模擬問題等を行い実力を把握します。	2通	60	3	○	△	
合計				23科目	1800単位時間 (61単位)	